



ロボティック・シンポジウム

ロボット関連技術の境界線 ～発展する無人機の可能性と国際動向～

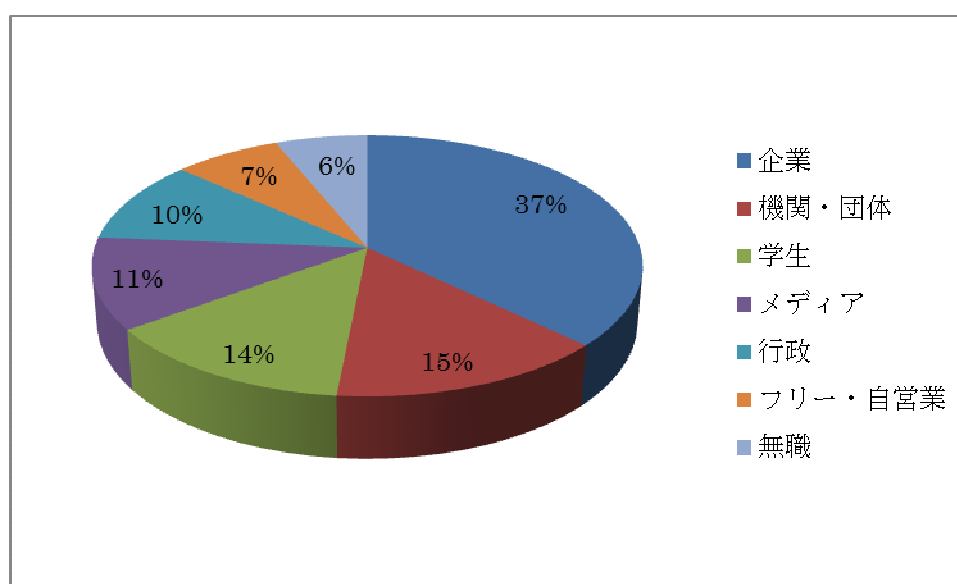
(1) 開催報告

開催日時：2013年11月8日（金） 13：50-18：30

開催場所：東京ビックサイト 会議棟 701+702会議室

来場者数：121名

内訳



プログラム：

モデレータ：小林賢一（(N) ロボティック普及促進センター 理事長）

13：30 開 場・受 付

13：50 主催者挨拶及び本シンポジウムの狙い 小林賢一

14：00 <第1部> 無人機の開発と実用化動向

- ・実用化無人機（業務用無人機）の紹介
大津良一（知能技術㈱ 代表取締役）
- ・災害監視無人機システムの研究開発と実証実験
石川和敏（宇宙航空研究開発機構航空本部 運航システム・安全技術研究グループ無人機システム技術セクション セクションリーダー）
- ・災害対応ロボット向け通信システム等の検討
根本朋生（総務省総合通信基盤局 電波部電波政策課統括補佐）



15 : 40 <第2部> 軍用無人機の研究開発動向

- ・防衛省における無人機研究の取組み

清水泰斗（防衛省経理装備局技術計画官付 前任部員（筆頭課長補佐））

- ・諸外国の軍用ロボットの概要

岩永正男（（一財）防衛技術協会 防衛用ロボット研究部会長）

16 : 50 <第3部> 軍用無人機の国際的な制度と規範形成のトレンド

- ・イントロダクション：軍用無人機をめぐる諸問題

福田 毅（国立国会図書館 調査員）

・UNROCA、ワッセナー・アレンジメント、オタワ・オスロ条約からATTへ：近年の国際規範形成の経緯と背景

夏木 碧（（特非）オックスファム・ジャパン ポリシー・オフィサー）

- ・致死性自律型ロボットの国際法規制に関する新動向

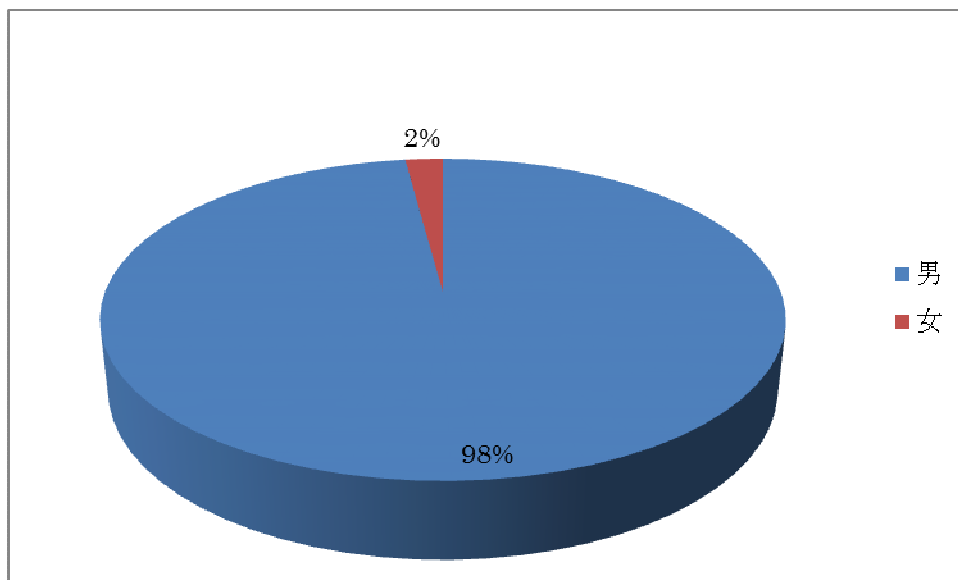
岩本誠吾（京都産業大学法学部 教授）

18 : 00 質 疑

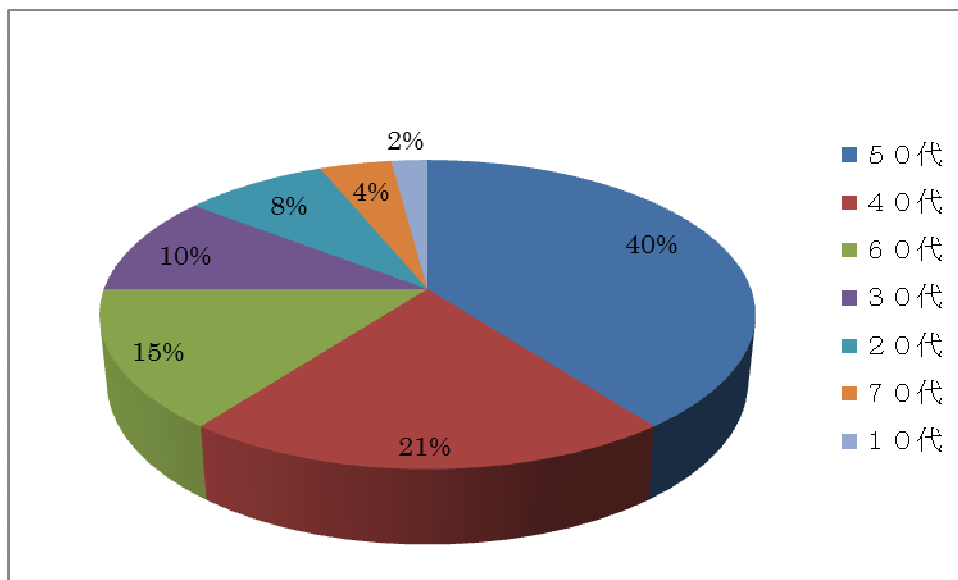
18 : 30 終 了

(2) 来場者アンケート集計結果 (N=48)

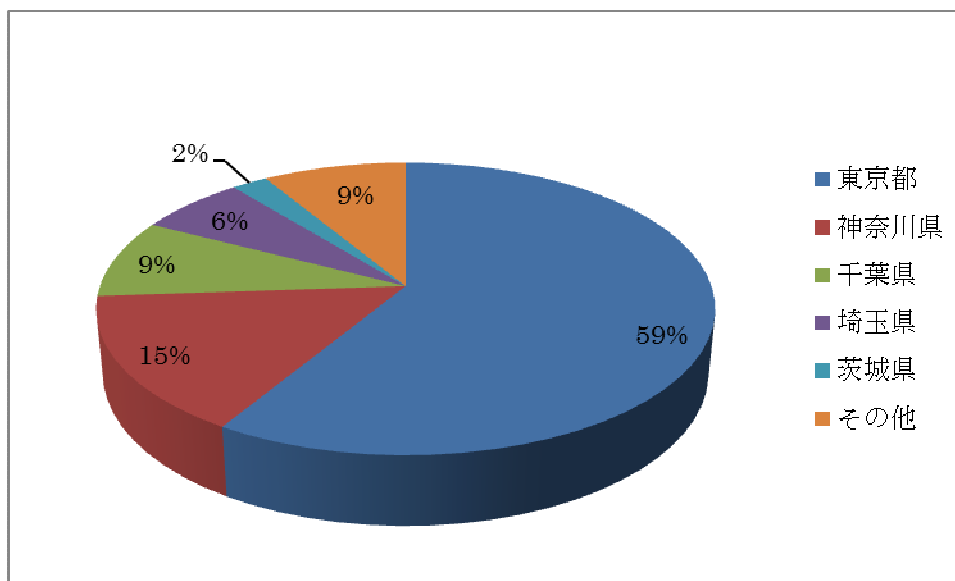
1. 性別



2. 年齢

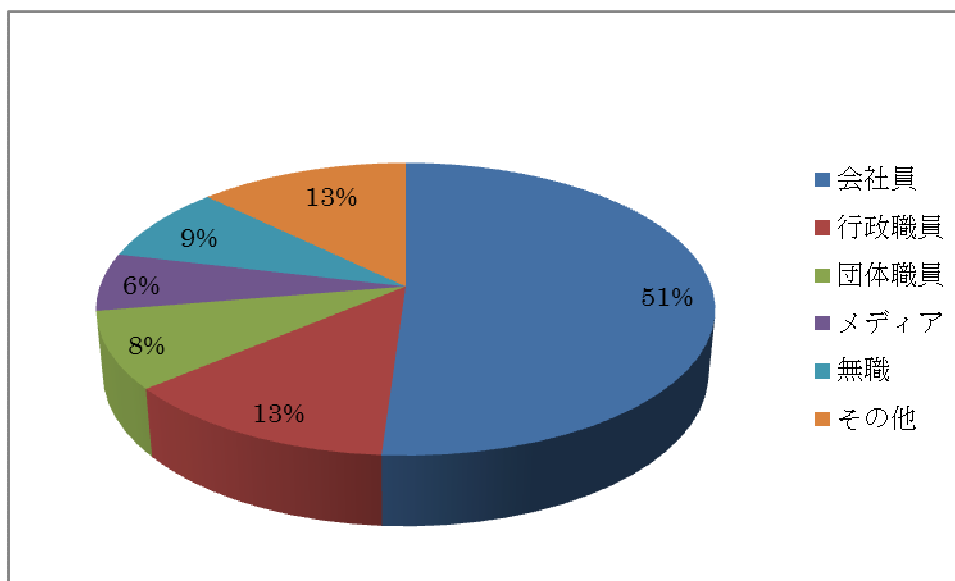


3. 住まい



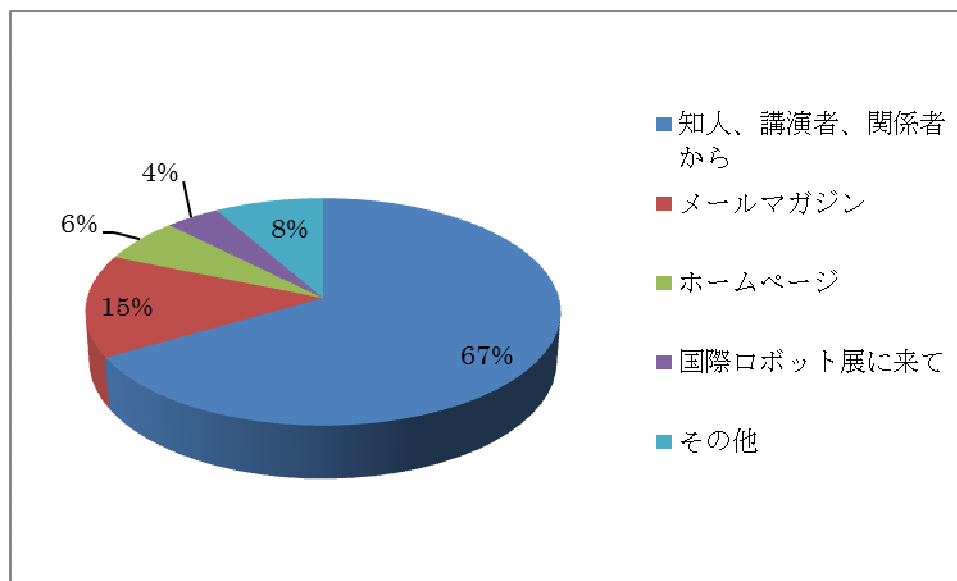
その他 = 栃木県、群馬県、静岡県

4. 職業

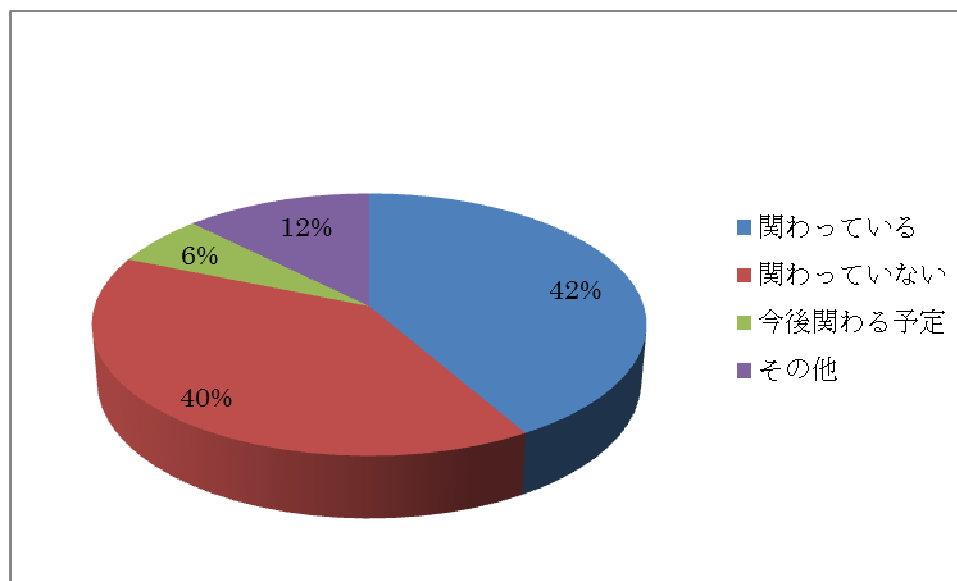


その他 = 大学教授、准教授、大学職員

5. ロボティック・シンポジウムをどこで知ったか

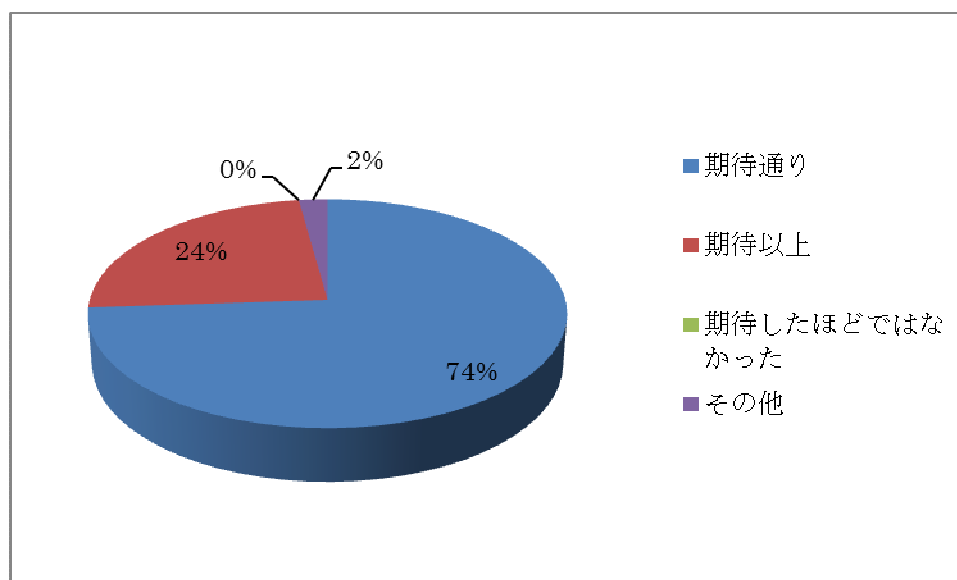


6. ロボット関連分野との関わりについて



その他 = 執筆、輸出管理、会社事業部門

7. ロボティック・シンポジウムの感想（主なもの）



- ・扱う分野が多岐にわたり、大変勉強になった
- ・非常に広範にわたる多くの情報を得ることができた
- ・求めていた情報を得ることができた
- ・かなり踏み込んだ内容だった
- ・現状の把握ができた
- ・防衛省のUAV、UGVの動向や協同研究について知りたいことが聞けた
- ・ハード（技術系）とソフト（条約等）の現状と将来について非常に深い内容だった
- ・普段、聞くことのできない内容だった
- ・理系技術系と文化系の論点が違うところが興味深かった
- ・技術と国際法との関係が良く理解できた
- ・実用化無人機の紹介が分かり易く、有意義であった